

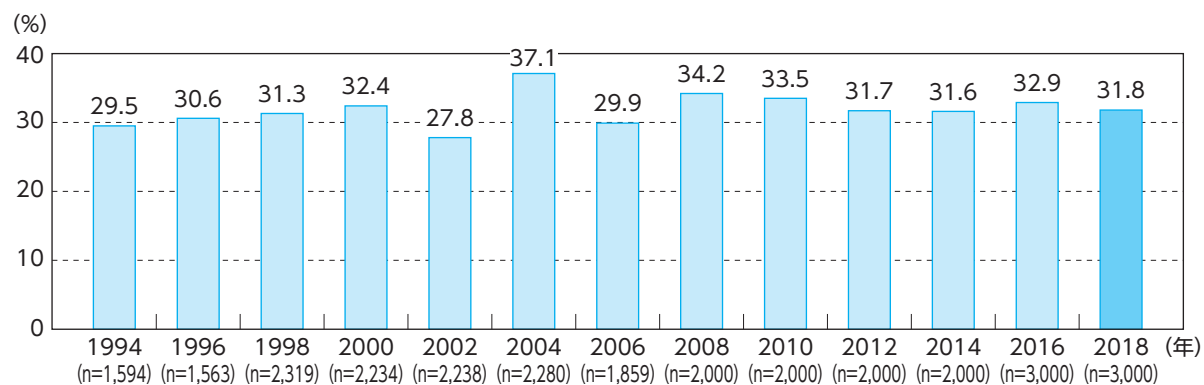
## 4 スポーツ観戦

### 4-1 直接スポーツ観戦率

過去1年間にスタジアムや体育館等で直接スポーツを観戦した者の割合を図4-1に示した。2018年の直接スポーツ観戦率は31.8%であり、前回2016年の32.9%から1.1ポイント減少した。2008年以降の直近10年間

の直接観戦率は30%前半で推移している。今回の結果から、過去1年間のわが国における直接スポーツ観戦人口は3,371万人と推計された。

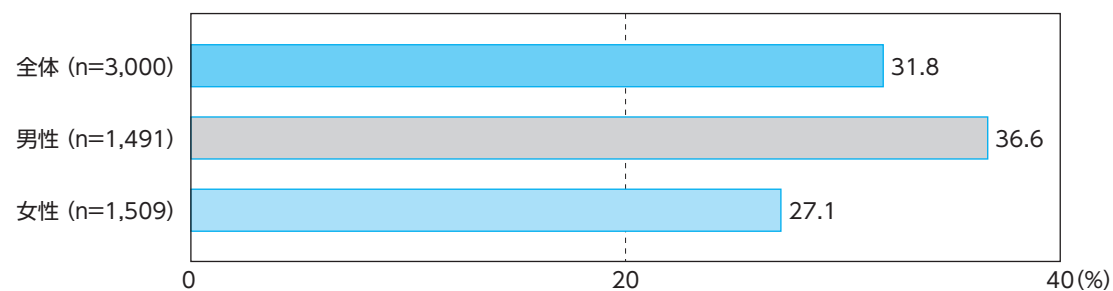
図4-2は性別にみた直接観戦率である。男性は36.6%、女性は27.1%で、男性が女性を9.5ポイント上回っている。



【図4-1】直接スポーツ観戦率の年次推移

注) 2014年までは20歳以上、2016年以降は18歳以上を調査対象としている。

資料: 笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」2018

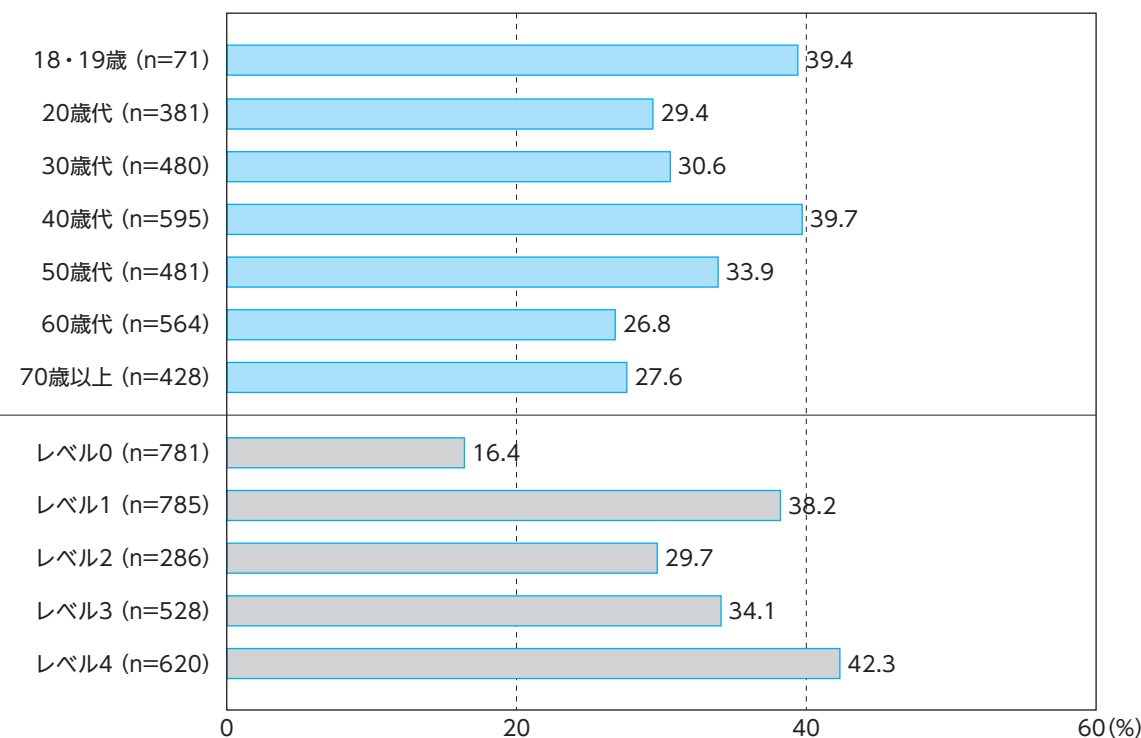


【図4-2】直接スポーツ観戦率(全体・性別)

資料: 笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」2018

図4-3には、年代別、運動・スポーツ実施レベル別の直接観戦率を示した。年代別では18・19歳39.4%と40歳代39.7%の直接観戦率が約4割と高く、次いで50歳代33.9%、30歳代30.6%、20歳代29.4%、70歳以上27.6%、60歳代26.8%であった。

運動・スポーツ実施レベル別にみると、最も高い直接観戦率は「レベル4」の42.3%であった。次いで「レベル1」38.2%、「レベル3」34.1%、「レベル2」29.7%となり、過去1年間にまったく運動・スポーツを行わなかった「レベル0」の直接観戦率は16.4%と最も低かった。



【図4-3】直接スポーツ観戦率(年代別・レベル別)

資料: 笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」2018

### COMMENTS

- 私はスポーツが得意ではありませんが、オリンピック、サッカーワールドカップ、バレーボール世界大会、プロ野球などは何時でもみます。選手をみていると「ファイト」をもらえます。(74歳 男性 技能的・労務的職業)
- プロのスポーツ選手の生き方から学ぶことが多く、子どもたちにもスポーツをしてほしいと思う。(35歳 女性 専業主婦・主夫)
- スポーツ観戦がもっと手ごろで身近なものになればいいと思う。(45歳 男性 管理的職業)
- スポーツ観戦・応援に行くと一体感を感じます。それが、地域に広まっていくことが、スポーツの発展に繋がる第一歩だと思います。どの年代の人が来ても楽しめる施設や環境、イベントのほか、一日をスポーツの観戦・応援以外でも充実させていくことが理想的です。(67歳 女性 パートタイム・アルバイト)

資料: 笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」2018

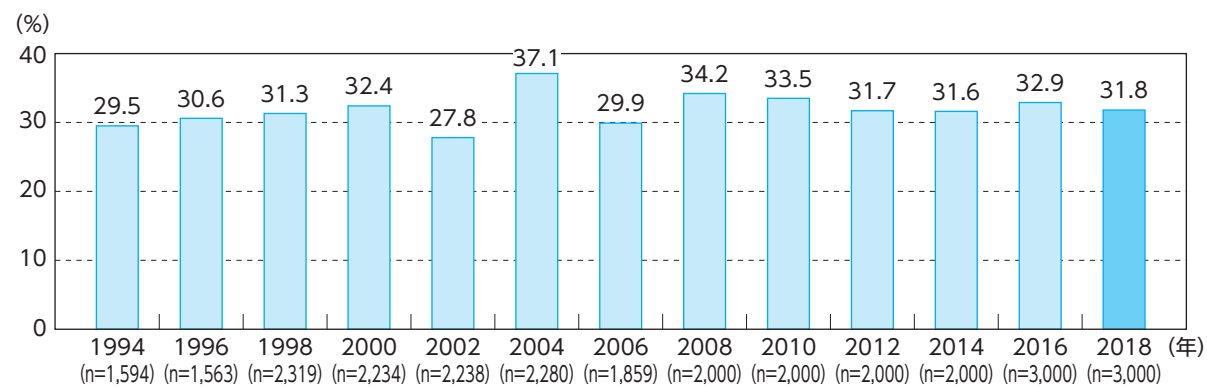
## 4 スポーツ観戦

### 4-1 直接スポーツ観戦率

過去1年間にスタジアムや体育館等で直接スポーツを観戦した者の割合を図4-1に示した。2018年の直接スポーツ観戦率は31.8%であり、前回2016年の32.9%から1.1ポイント減少した。2008年以降の直近10年間

の直接観戦率は30%前半で推移している。今回の結果から、過去1年間のわが国における直接スポーツ観戦人口は**3,373万人**と推計された。

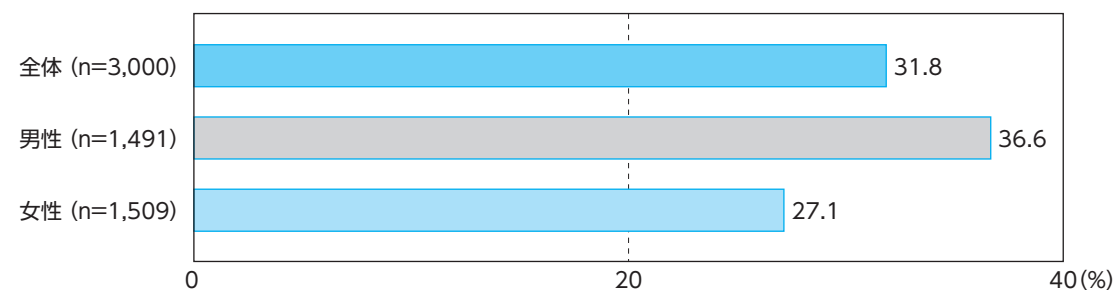
図4-2は性別にみた直接観戦率である。男性は36.6%、女性は27.1%で、男性が女性を9.5ポイント上回っている。



【図4-1】直接スポーツ観戦率の年次推移

注) 2014年までは20歳以上、2016年以降は18歳以上を調査対象としている。

資料: 笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」2018

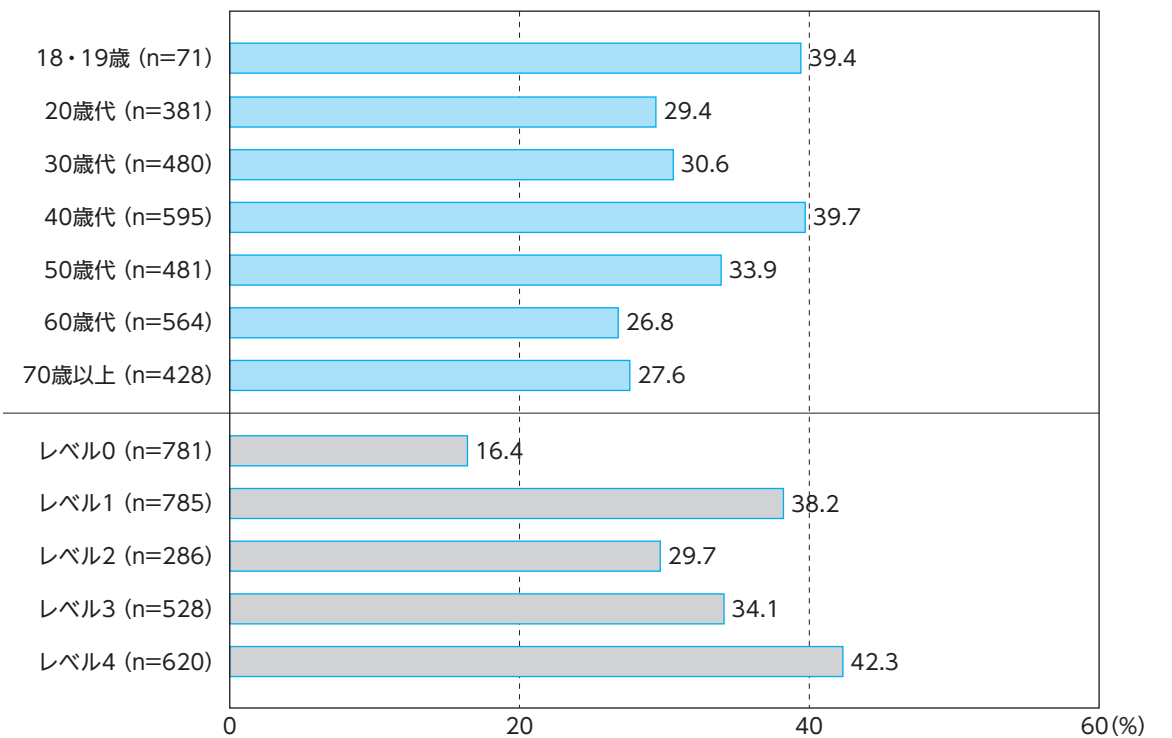


【図4-2】直接スポーツ観戦率(全体・性別)

資料: 笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」2018

図4-3には、年代別、運動・スポーツ実施レベル別の直接観戦率を示した。年代別では18・19歳39.4%と40歳代39.7%の直接観戦率が約4割と高く、次いで50歳代33.9%、30歳代30.6%、20歳代29.4%、70歳以上27.6%、60歳代26.8%であった。

運動・スポーツ実施レベル別にみると、最も高い直接観戦率は「レベル4」の42.3%であった。次いで「レベル1」38.2%、「レベル3」34.1%、「レベル2」29.7%となり、過去1年間にまったく運動・スポーツを行わなかった「レベル0」の直接観戦率は16.4%と最も低かった。



【図4-3】直接スポーツ観戦率(年代別・レベル別)

資料: 笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」2018

### COMMENTS

- 私はスポーツが得意ではありませんが、オリンピック、サッカーワールドカップ、バレーボール世界大会、プロ野球などは何時でもみます。選手をみていると「ファイト」をもらえます。(74歳 男性 技能的・労務的職業)
- プロのスポーツ選手の生き方から学ぶことが多く、子どもたちにもスポーツをしてほしいと思う。(35歳 女性 専業主婦・主夫)
- スポーツ観戦がもっと手ごろで身近なものになればいいと思う。(45歳 男性 管理的職業)
- スポーツ観戦・応援に行くと一体感を感じます。それが、地域に広まっていくことが、スポーツの発展に繋がる第一歩だと思います。どの年代の人が来ても楽しめる施設や環境、イベントのほか、一日をスポーツの観戦・応援以外でも充実させていくことが理想的です。(67歳 女性 パートタイム・アルバイト)

資料: 笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」2018